

## 国際会議から 第3回国際鉄道地盤工学会議 (GEORAIL 2017)

本国際会議は、鉄道に関連する土構造物や軌道などを対象とする地盤工学の会議です。本会議はIFSTTAR（フランス運輸・整備・ネットワーク科学技術研究所）を会場として3年に1度の頻度で開催され、今回が3回目となります。今回の会議では、鉄道総研からは筆者と基礎・土構造研究室の佐藤研究員が研究発表を行いました。

本会議では、土構造物の工法、軌道路盤やバラスト軌道の挙動、既設構造物の維持管理手法、自然災害への対策手法などのセッションがありました。筆者(図1)は自然災害への対策手法のセッションで「融雪期の斜面災害に対する維持管理手法」について発表を行いました。また佐藤研究員は既設構造物の維持管理手法のセッションで「試験盛土および現地盛土における土壌水分観測」につい

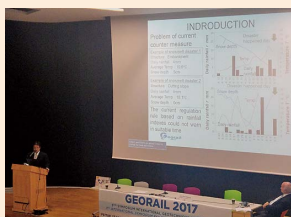


図1 高柳副主任研究員(筆者)発表の様子

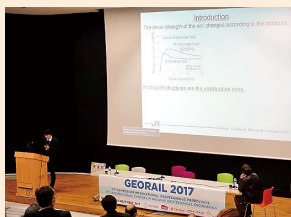


図2 佐藤研究員発表の様子



図3 RRR工法の展示ブースの様子



高柳剛  
防災技術研究部  
地盤防災研究室  
副主任研究員

て発表を行いました(図2)。また同会議においては、鉄道総研開発のRRR工法が同協会のブースにおいて展示され、会議参加者から高い関心を集めていました(図3)。また同会議においては、日本の鉄道でも大きな課題となっている路盤下陥没対策に関する発表などがあり、今後の日本における防災技術の向上に参考となる情報を得ることができました。

なお、本会議に先立って、IFSTTARと現在進めている「浸食・洗掘問題」に関する共同研究打ち合わせを2日間行い、日仏の洗掘問題に対する最新の取り組みや洗掘採点表に関する意見交換を行いました。

正式名称：GEORAIL 2017  
開催国：フランス(パリ)  
期間：2017/11/23-24  
主催：IFSTTAR(フランス運輸・整備・ネットワーク科学技術研究所)  
開催頻度：3年に1回  
次回開催予定：2020年11月頃 フランス  
ホームページURL：<http://georail2017.com/>